教育哲学研究

第 126 号 2022

論文 「抵抗」概念から見るカント教育学 ______櫛桁(横井) 祐哉 ──「訓育」論を超えた「抵抗」論 ── エッセイ 学びと自己形成 ― 「一滴の雨水の責務」を探す旅 ― 杉山 精一 教育哲学を考える 未来社会に向けた複合型教育理論 藤井 佳世 教育哲学会の現在 加藤 守通 世界の教育哲学との対話(2) ― 韓国 書評 安喰勇平著『レヴィナスと教育学 — 他者をめぐる教育学の語りを問い直す』 福若 眞人 岡本哲雄著『フランクルの臨床哲学 — ホモ・パティエンスの人間形成論』 広岡 義之 河野桃子著『シュタイナーの思想とホリスティックな知』 吉田 敦彦 冨澤美千子著『野村芳兵衛の教育思想─往相・還相としての「生命信順」と「仲間作り」』 _____山田 直之 宮川幸奈著『自律を目指す教育とは何か ― 自然主義的な教育哲学の試み』 _____小山 裕樹 図書紹介 鈴木剛著『思想としてのペダゴジー — 普通教育・人間の教育・主権者教育を論じる』 田中 智輝 苫野一徳著『学問としての教育学』 小林 大祐 平田文子著『デュルケーム世俗道徳論の中のユダヤ教 — ユダヤの伝統とライシテの狭間で』 田口 賢太郎 矢野智司・井谷信彦編『教育の世界が開かれるとき — 何が教育学的思考を発動させるのか』 米津 美香

山名淳編『伝達と創造 ― 「原爆の絵」プロジェクトを通して想起と創造を考える』	
高橋	舞
吉田敦彦著『教育のオルタナティブ ― 〈ホリスティック教育/ケア〉研究のために』	
	至子
アンスガー・アレン著/上野正道監訳/彩本磨生訳『シニシズム』	
	÷子
ガート・ビースタ著/上野正道監訳	
『教育にこだわるということ ― 学校と社会をつなぎ直す』村松	灯
テオドール・リット著/小笠原道雄・野平慎二編纂	
『現代という時代の自己理解 — 大学・研究=教育の自由・責任』 森 裕	右亮

学会報告•著作権公示

英文摘要

教育哲学会